

2026 年 7 月 16 日

富士ソフト株式会社

富士ソフト、「Gen.2 AI 事業戦略」を発表

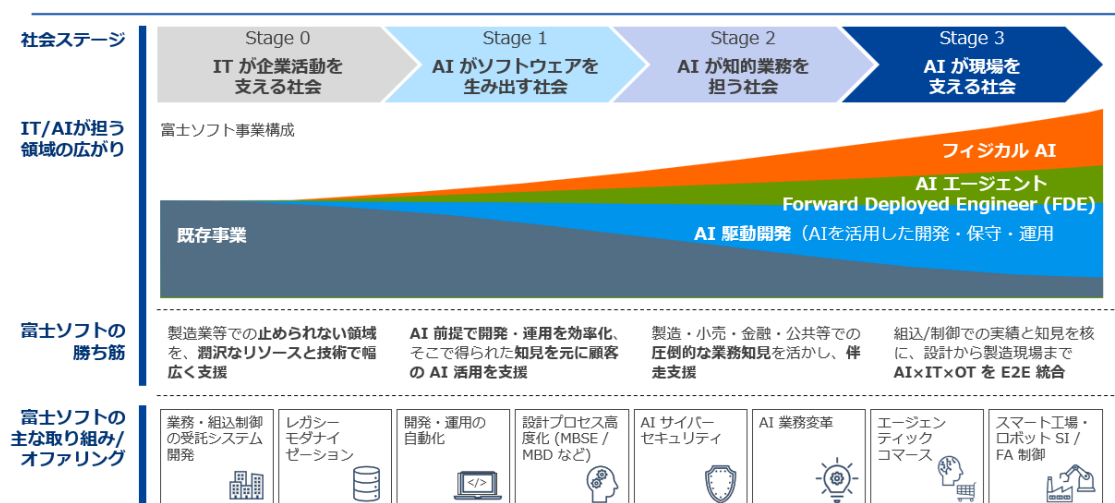
AI×IT×OT の総合力で、AI を"現場で動かし続ける"実装力を強化

富士ソフト株式会社（代表取締役 社長執行役員 兼 CEO：室岡 光浩）は、「富士ソフト Gen.2 AI 事業戦略」を発表しました。本戦略では、「フィジカル AI」「ビジネス AI」「エンジニアリング AI」を 3 本柱として掲げ、その中核となる共通デリバリーモデル「AI アセットファブリック」を 2026 年中に整備します。これにより、AI を"現場に実装し、止めずに動かし続ける"実装力を強化し、AI 時代の新たな競争優位の確立を目指します。

「考える AI」から「現場で動かす AI」へ、市場の転換

日本企業は、労働人口の減少（2040 年までに 900 万人減※1）、高度技術者の不足、IT コストの高騰という 3 つの構造的課題に直面しています。こうしたなか、企業における AI 活用のステージは、情報の整理や提案を行う「考える AI」から業務・設備・システムと連動し、現場で実際に価値を生み出す「現場で動かす AI」へとシフトしつつあります。富士ソフトは、PoC（実証実験）で終わらせず、AI モデルの構築から制御・統合・運用までを一貫して担い、AI 実装に責任を持つ「ACTIONABLE AI — AI を"動かし続ける"会社」として、日本企業の AI 活用を支援していきます。

“誰でも AI の価値を享受できる社会の実現”に向けて



富士ソフトが築く独自の競争優位「現場に強い総合力」

富士ソフトの強みは、組込／制御分野で長年培った「AI×IT×OT」の総合力にあり、スマートファクトリー・ロボット・自動運転・社会インフラなど、データ・制御・安全性・現場理解のすべてが求められる領域で豊富な実績を有します。これらの実績のなかでも特に「止められない領域」での経験を再現可能な「型（オファリング）」に昇華し、ラストワンマイルの実装

まで責任を持つ点が、他社にはない独自の競争優位性となります。

AI 事業戦略の 3 本柱のもとで、共通基盤「AI アセットファブリック」を整備

富士ソフトは、①現場の設備・ロボットを動かす「フィジカル AI」、②人の業務を支援・代替する「ビジネス AI」、③システムを作る・運用する「エンジニアリング AI」を 3 つの柱として、「Gen.2 AI 事業戦略」を展開します。これらを支える共通デリバリーモデルとして、「AI アセットファブリック」を 2026 年中に整備します。この「AI アセットファブリック」は、「再利用可能な開発資産（アセット）」「品質と再現性を担保するコントロールプレーン」「ベンダーフリーで最適技術を提案する AI テクノロジスタック」の 3 要素で構成されます。実証済みの資産を再利用することで、スピードと品質を両立し、AI 駆動開発におけるハルシネーションや品質低下リスクを最小化します。

AI 時代を担う人財戦略と、社会を動かすロードマップ

AI 時代の Sier の競争軸は「人月」ではなく「顧客課題の解決」にあります。富士ソフトは、社員全員が「AI×業務×顧客価値をつなぐ人財」へと転換することを目指し、社内の人事評価軸を稼働率・売上から付加価値・再現性・貢献度へと見直します。今後のロードマップとしては、2026 年を「基盤構築段階（AI 前提企業への転換）」と位置づけ、2027 年に「成長エンジンの確立」、2028 年以降は「AI で社会を動かす会社」というビジョンの実現を掲げ、「Gen.2 AI 事業戦略」を推進していきます。

※1 JILPT「2023 年度版 労働力需給の推計」

<https://www.jil.go.jp/institute/siryo/2024/284.html>

富士ソフト株式会社について

事業内容：コンサルティング、開発、システム構築、サポートまでのトータルソリューション

URL：<https://www.fsi.co.jp/>

富士ソフトは、個のエンジニアリング力と高度な組織力を結集し、AI・IT・OT の融合によりお客様の未来を創造するデジタルイノベーションカンパニーです。1970 年の創業以来、組込・制御技術と各産業に最適化されたソリューションで実績を築き、組込／制御分野では自動車やロボットなどの先端領域、ソリューション分野では業務系開発や官公庁・電力など社会インフラを支えてきました。2026 年より新理念「社会の発展とお客様の価値創出に寄り添う、かけがえのない存在であり続ける」を掲げ、「組込／制御」「社会インフラ」「ソリューション」事業における先進技術と組織力を強みに、多様なオファリングを展開。経営変革の伴走パートナーとして、常にイノベーションに挑戦しながら、お客様と共に未来を創造し続けます。

【公式 SNS】

LinkedIn：<https://jp.linkedin.com/company/fujisoft-incorporated>

Facebook：<https://www.facebook.com/FUJISOFT.japan>

X : https://x.com/FSI_official_X

お問い合わせ先

コーポレートコミュニケーション部 広報窓口

TEL : 050-3000-2735

E-MAIL : mkoho@fsi.co.jp

※ 記載されている会社名および商品名は、各社の登録商標または商標です。